

自立活動だより

平成26年10月発行

10月の自立活動だよりは、中学部の取組について紹介します。

今年度の中学部は、知的障害学級（以下、1ブロック）に54名、肢体不自由学級（以下、2ブロック）に7名（訪問生2名含む）の生徒が在籍しています。

今回は、1ブロック、2ブロックの自立活動の取組（時間における指導）の一部を紹介します。

【1ブロック】

1ブロックでは、毎日2限目を個別学習と自立活動の「時間における指導」として設定しています。指導の形態は、個別指導または同じ課題をねらいとする小集団（2～3人）での指導を行っています。

今回は、個別での取組を紹介します。

《中学部2年生1名》（心理的な安定）

友達や教師に対してイライラすることが多く、感情的に受け答えしてしまいがちな生徒に対して取り組んでいます。自分に向き合う機会を大切にしています。

<ねらい>

- ・苦手意識のあることにも、前向きに取り組める。
- ・自分の気持ちを感情的にならずに伝えることができる。

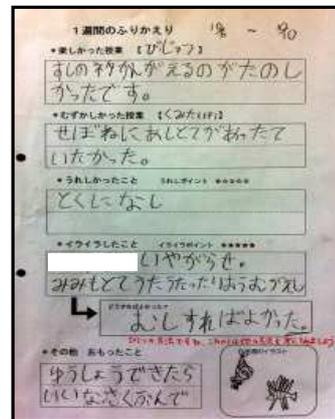
<取組内容>

ステップ①「いろいろな気持ち」



いろいろな「自分の気持ち」について考えました。「うれしい」や「しんどい」ってどんな時なのか項目ごとに考えました。「イライラ」では、いくつもの経験をあげることができました。

ステップ②「自分に向き合う」



金曜日に毎週の振り返りを行っています。項目ごとに考え、「イライラしたこと」ではその時にどうすればよかったか、対処法についても考えます。

ステップ③「私の得意な事」

漫画やイラスト、作詞など自分の得意なことで周りの人から認められる経験を積み上げます。10月には国語で作った詩を宮城県の白鳥省吾賞に応募しました。

ステップ①～③の取組を関連付けながら指導を進めていくことが大切です。

《中学部2年生1名》（健康の保持、心理的な安定）

肥満傾向で体を動かすことに苦手意識がある生徒に取り組んでいます。苦手意識のあることや見通しのもちにくい活動に対して泣いたりパニックになったりすることがあります。体を動かすことを通して、苦手なことにも前向きに取り組める経験を積み上げます。

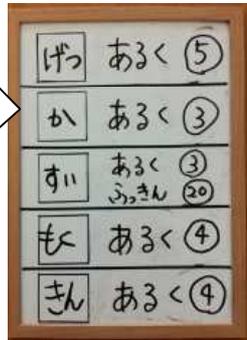
<ねらい>

- ・苦手な事にも気持ちの折り合いをつけ、前向きに活動できる。
- ・体を動かす習慣をつけることで、肥満の改善に努める。

<取組内容>

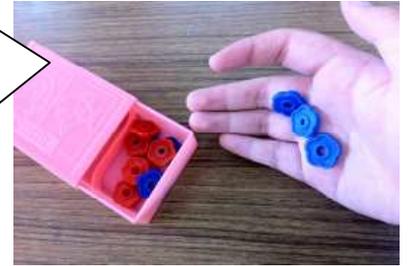
ポイント①「気持ちの折り合いをつける」

月曜日に一週間の取組内容を本人と相談して決めます。自分で決めることで気持ちの折り合いをつけ、主体的に取り組むことができています。



ポイント②「見通しをもつ」

ウォーキングの場合、周回分のおはじきを持ち、一周毎に所定の箱に入れていきます。見通しをもちやすく一人で最後まで歩くことができます。



【2ブロック】

2ブロックでは、毎朝の自立活動（健康の保持、身体の動きを中心とした内容）を行い、金曜日の5限目には「時間における指導」として自立活動（個別の実態に応じて必要とされる項目を取り上げた内容）を設定しています。今回は金曜日の5限目、コミュニケーションに関する取組を紹介します。

《中学部1年生1名》（コミュニケーション）

友達の名前や日常生活の単語等において、全てを発音することが難しく、1音で表現しようとするものが多々あります。相手に自分の思いを明確に伝えることができるように取り組んでいます。

<ねらい>

- ・明確に発音するために正しい口の形や息の吹き方を身につける。
- ・物の名前を正しく発音する。

<取組内容>

①ろうそく吹き消しゲーム



ろうそくの火を吹き消します。口からろうそくまでの距離を計測し、距離を伸ばしていきます。ゲーム性をもたせることで意欲的に取り組んでいます。

②舌・頬の体操



教師の見本を見た後、自分で鏡に向かい模倣します。舌の出し入れや頬を膨らませたりしぼませたりします。

③発音ゲーム



身の回りの物の写真カードをみて発音します。「パン」は2文字で発音できるようになりました。

ここで紹介した取組はほんの一部です。日頃の取組内容で、何をねらいとしているかなど疑問に感じたことはありませんか？ そんな時は遠慮せずに担任に聞いてください。

